

# 掛時計

## ソーラー電波クロック

### 取扱説明書

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用くださいますよう、  
お願い申し上げます。

- ・この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- ・この取扱説明書の図は実際の表示と異なる場合があります。
- ・本製品によって生じた、いかなる支出、損害、その他の損失に対しても、弊社は一切の責任を負いません。
- ・この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

## 付属品 ご使用前に確認してください。

●ご使用前に確認してください。

- チラシ 1枚
- 保証書 1枚
- 木ねじ 1本 (厚い木の壁・木の柱専用)
- 石膏ボード用掛け具 (掛金具1個、釘5本 (うち1本は予備))
- 製品のお取扱いに関する重要なお知らせ 1枚

※付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様年の年数に満たないうちに電池の寿命が切れることがあります。

## 必ずお守りください。安全上のご注意

### 警告 死亡または重傷を負う恐れがある内容

<付属部品 (木ねじ、掛け具) について>

木ねじや掛け具などは、幼児の手が届かないところへ置いてください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

<梱包用ポリ袋について>

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

### 注意 けがをしたり家財に損害を与える恐れがある内容

<掛け方について>

本製品は確実に掛けてください。  
本製品の落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがあります。  
掛ける場所、壁の材質、構造をご確認のうえ、本製品の重さによる充分耐えられる掛け具を選んでください。ご使用の際は、同梱の「製品のお取扱いに関する重要なお知らせ」も必ずお読みください。記載された場所以外に取り付ける場合は、建築メーカーなどにご相談ください。  
※掛け具に本製品を掛けた際、本製品を上下左右、そして手前に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

厚い木の壁・木の柱に掛けるとき	付属の木ねじをご使用ください。
石膏ボードの壁に掛けるとき	付属の掛け具 (掛金具、釘) をご使用ください。 付属の木ねじは使用しないでください。
コンクリートなど、上記以外の壁や柱に掛けるとき	付属の木ねじ・掛け具は使用しないでください。 市販の掛け具をご使用ください。 ※市販の掛け具によっては、正しい掛け方ができない場合があります。上記の「 <b>掛け方について</b> 」をよくお読みのうえ、本製品に適した掛け具をご使用ください。

<製品の設置場所について>

落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には本製品を設置しないでください。

<分解や改造をしない>

本製品を分解したり、改造したりしないでください。本製品の故障やけがの恐れがあります。

<製品と電池の廃棄について>

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

## 必ずお読みになってからご使用ください。

### ■ 使用上のご注意

- 本製品にはマイコンが内蔵されています。静電気などにより誤動作することがありますが、故障ではありません。誤動作した場合は、リセットボタンを押してください。リセットボタンを押した場合は、時刻などはリセットされます。
- 本製品は日本標準電波仕様のため、海外では電波修正機能は使用できません。
- 海外でご使用の場合も日本の電波を受信することがあります。その場合は自動受信を止めて、手動で時刻を合わせてください。

### ■ 使用場所について

下記のような場所では使用しないでください。本製品や内部の充電電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。  
また、本製品は業務用ではありません。

- 十分な光発電ができない暗い場所。また、長時間暗い状態が続く。  
※詳しくは、「ご使用方法 ①お使いの場所を決める」をご覧ください。
- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる場所。  
(例) 屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下になる所。  
プラスチック製の部品や内部の充電電池が劣化することがあります。
- ちり・ほこりの多い所。  
空気中に舞い上がったちりや埃や接点に挟まり、時計が止まる場合があります。
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く。磁気の影響で、進み・遅れが生じたり、時計が止まる場合があります。
- 浴室など湿度が多い場所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。  
霧状になった油分が時計の歯車などに付着し、時計が止まる場合があります。
- ビニール系素材の壁、敷物などの上。  
壁や敷物、および本製品が汚れたら傷むことがあります。
- 温度や湿度の変化が激しい所。  
寒い所から暖かい所への移動などにより、結露が生じることがあります。
- 木枠の製品の場合は、空気が非常に乾燥した状態や湿度の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40℃以上の高温になると、接合部が変形したり損傷することがあります。

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などに設置してください。なお、天候、時間帯、建物の影響など、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。場所を変えてご使用ください。

- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害が起きやすい所
- 乗り物の中 (自動車、電車、飛行機など)
- スチール系など、金属製の家具の上や近く
- その他、電波ノイズを発生させるもの近く

※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で動作します。

## 電波クロックについて

### ■ 電波時計/電波修正機能とは

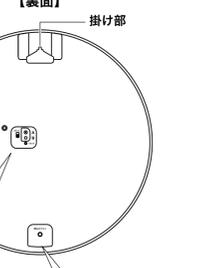
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に時刻を修正・表示します。

### ■ 標準電波とは

情報通信研究機構 (NICT) が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10年間に1秒の誤差という超高精度を誇る「原子時計」によるものです。

### ■ 電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所 (東・西2カ所) からおおむね1000km~1200kmです。この製品は40kHz (東・福島送信所)、60kHz (西・九州送信所) のいずれかを受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、設置場所、時計の向き、時間帯、地形、建物の影響などによって受信できない場合があります。



### ■ ご注意

- 電波障害などによって、誤った時刻が表示される場合があります。また、設置場所や電波状況によっては受信できない場合があります。そのようなときは、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で動作します。
- 標準電波は、毎時15分と45分から各1分間、一部の時刻情報の送信が中断されます。また、設備のメンテナンスや落雷などの影響により電波の送信が停止 (停波) することがあります。停波に関する情報は、情報通信研究機構日本標準電波グループのホームページをご覧ください。  
(ホームページアドレス <https://jij.nict.go.jp/>)

## 光発電について

### ■ 光発電とは

光を当てることでソーラーセルが光を電気に変換し、その電気で時計が動きます。明るさや一定以上の電圧、時計内部の充電電池に充電しながら、暗いときはその充電電池に貯めておいた電気で時計が動きます。

### ■ 使用場所について

本製品は光発電により動く時計ですので、できるだけ明るい場所でご使用ください。

**注意** 直射日光での充電は、絶対にしないでください。本製品は屋内専用です。直射日光を当てると、光発電の能力が低下したり、故障の原因となります。

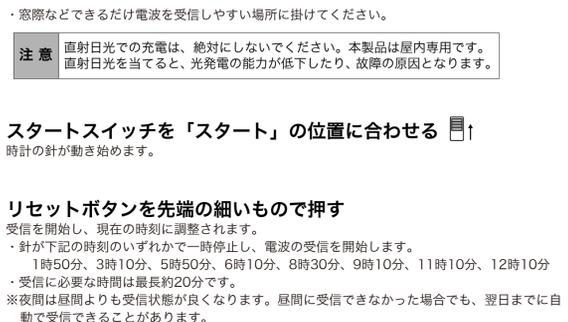
- 一般家庭の明るい場所 (200ルクス程度) で1日あたり5時間以上、明るいオフィス (700ルクス程度) で1日あたり2時間以上光を受けて充電量を減らさず動き続けます。また、一度フル充電すると1光が当たらなくても約10ヶ月動きます。

### ■ 長期保管について

長期間保管をする場合は、スタートスイッチを下げて保管をしてください。

## ご使用方法

### ■ 各部の名称



※時計のデザインによって、ボタン、LEDランプの位置などが異なる場合があります。

## ■ ご使用方法

### 1 お使いになる場所を決める

裏面の明るさテストボタンを押して、時計前面の明るさ確認用LEDランプが点灯することを確認してください。

LEDランプが点灯する場所は光が当たることができる場所です。  
・明るさ1日あたり必要な光が当たる時間の関係は下の表を参考にしてください。

照度	環境の目安	時計が動き続けるために必要な1日に光が当たる時間
200ルクス	一般家庭の明るい場所	5時間
700ルクス	明るいオフィス	2時間

・窓際などでできるだけ電波を受信しやすい場所に掛けてください。

**注意** 直射日光での充電は、絶対にしないでください。本製品は屋内専用です。直射日光を当てると、光発電の能力が低下したり、故障の原因となります。

### 2 スタートスイッチを「スタート」の位置に合わせる

時計の針が動き始めます。

### 3 リセットボタンを先端の細いもので押す

受信を開始し、現在の時刻に調整されます。その後、「0秒」に合わせて針が動き出します。

- ・針が下記の時刻のいずれかで一時停止し、電波の受信を開始します。
- ・1時50分、3時10分、5時50分、6時10分、8時30分、9時10分、11時10分、12時10分
- ・受信に必要な時間は最長約20分です。

※夜間は息管よりも受信状態が良くなります。昼間に受信できなかった場合でも、翌日までに自動で受信することができます。

【参考】詳しくは、『電波クロックについて』をご覧ください。

### 受信に成功した場合

自動で時計と分針が現在の時刻に調整されます。その後、「0秒」に合わせて針が動き出します

### 受信できなかった場合

針の一時停止が解除され、針が動き始めます。このとき、電波の再受信は行いません。

【参考】『その機能』の「電波を受信できなかった場合」に従って、場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。

### ■ 受信結果の確認方法

通常のご使用中に、②受信ボタンを1回押すと、以下のように時計裏面の受信結果確認用LEDランプの色によって、電波の受信結果が表示されます。

「緑」が点滅	過去24時間以内に受信に成功しています
「赤」が点滅	過去24時間以内に、一度も受信できていません。

※LEDランプの点滅は数秒間続きます。

## 4 本製品を設置する

本製品を、使用したい場所に掛けてください。

※窓際など、できるだけ電波を受信しやすい場所に掛けてください。

【参考】 付属の『製品のお取扱いに関する重要なお知らせ』に従って、本製品を正しく掛けてください。

### ■ 充電方法

時計が止まったり、明るい場所で明るさテストボタンを押しても明るさ確認用LEDランプが点灯しない場合は、充電電池の容量が不足しています。

以下の手順で充電してください。

- ① スタートスイッチを下げる
- ② 『充電容量の回復に必要な時間について』を参照して、光が当たる場所に置く  
※ 時計が止まった状態で長く放置された場合、充電時間が長くなることがあります。
- ③ 裏面の明るさテストボタンを押して明るさ確認用LEDランプが点灯することを確認する  
※ 明るさ確認用LEDランプが点灯したら充電が来ています。『ご使用方法』に従って時計を設定してください。

### ■ 充電容量の回復に必要な時間について

充電電池の充電時間の目安は以下の通りです。

照度	環境の目安	充電時間	
		時計が停止してから動き出すまで	時計が停止してからフル充電されるまで
1000ルクス	20W 蛍光灯1本より約45cm 離れた位置	約80時間	約500時間

・充電するときは、スタートスイッチを下げて、蛍光灯の下など明るい場所に置いてください。

・時計が止まった状態で長く放置された場合、充電時間が長くなることがあります。

## その他の機能

### ■ 電波を受信できなかった場合

#### ■ 手動で電波を受信して時刻を合わせる

- ① 電波状況の良い窓際などへ移動する
- ② ②受信ボタンを長く押す (約2秒)  
時計裏面の受信結果確認用のLEDランプが「赤」点灯するまで押し続けてください。しばらくすると時計と分針が停止し、受信を開始します。  
・受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。場所を変えて、もう一度受信させてください。

#### ■ 手動で時刻を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。

- ① ②受信ボタンを長く押す (約2秒)
- ② ②モードボタンを押して時刻を合わせる  
ボタンを1回押すごとに、分針が1分進みます。  
ボタンを押し続けると、ボタンを放すまで分針が進み続けます。
- ③ ②モードボタンを押す  
時刻合わせが完了したら②モードボタンを押してください。針が動き出します。  
※ 5分以上ボタンを操作しない場合は、自動的に針が動き出します。

### ■ 受信状態について

リセット後の受信中、または手動受信中は、以下のように受信結果確認用LEDランプの色によって受信状態を表示します。ただし自動受信中はLEDランプは点灯しません。

受信結果確認用LEDランプの状態	受信状態
「緑」が点灯	電波状態が良く受信可能
「緑」が点灯し、たまに「赤」が点灯	電波状態が比較的良く受信成功の可能性がある
「赤」と「緑」が同じくらいの割合で点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が低い
「赤」が点灯し、たまに「緑」が点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が非常に低い
「赤」が点灯	電波状態が悪く受信不可能 (受信開始後最初の約2秒間は必ず「赤」が点灯します)

### ■ 自動受信について

毎日、午前2時に自動で電波を受信します。

以降は3時間ごとに電波の受信を繰り返します。(1日8回)

- ・受信中(最長約20分)は針が不規則な動きをすることがあります。
- 分針：約30秒ごとに運針

#### ■ 自動受信を止めたい場合

海外で使用する場合や、時刻をずらして使用したい場合は、自動受信を止めてください。

- ① ②受信ボタンを長く押す (約7秒以上)  
※途中で時計裏面の受信結果確認用LEDランプが点灯しますが、そのまま押し続けてください。  
分針が動き出すと、自動受信が停止されます。

メモ：自動受信を止めても、手動受信を実施すると電波の受信を開始します。(その後、自動受信は行わず、クォーツの精度で動作します)  
・自動受信を再開したいときは、リセットボタンを押してください。

- ② 『手動で時刻を合わせる』の手順に従って時刻を合わせる

## お手入れについて

- プラスチック枠の製品の場合  
本体を清掃するときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- ソーラーセルの製品は、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾かしてください。

### 木枠・金属製の製品の場合

- 汚れやほこりを取るときは、やわらかい布で乾かしてください。

※お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。変色したり、傷が付いたり、破れがあります。

## 故障かな?と思ったときは

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。

症状	考えられる原因	処置
針が動かない	・電波の受信中、または時刻修正中である ・スタートスイッチが「スタート」になっていない ・充電電池の容量が少なくなっている	・受信終了後、通常の動作に戻ります。 ・スタートスイッチを「スタート」に合わせてください。 ・「充電方法」を参照し、充電してください。
針が不規則に動く	・電波の受信中、または時刻修正中である	・受信終了後、通常の動作に戻ります。
ボタンやスイッチの操作が効かない	・電波の受信に成功し、時刻の修正中である ・リセット後の、電波の受信中である	・時刻の修正動作が終了してから、再度ボタンやスイッチを操作してください。
時刻が合っていない	・電波の受信が成功していない	・「電波を受信できなかった場合」を参照し、再度受信させてください。
明るさ確認用LEDランプが点灯しない	・充電電池の容量が少なくなっている ・充電電池の容量が少なくなっている	・「充電方法」を参照し、充電してください。 ・「充電方法」を参照し、充電してください。

## 製品仕様 改良のため予告なく変更する場合があります。

- 時間精度：平均月差±20秒 (電波を受信しない時刻修正を行わない場合：気温5℃~35℃で使用した場合)
- 使用温度範囲：-10℃~50℃
- ソーラーセル：薄膜太陽電池
- 充電電池：コイン型リチウム二次電池
- 動き続ける条件：例1：200ルクスの明るさを1日あたり5時間以上受ける  
例2：700ルクスの明るさを1日あたり2時間以上受ける
- 受信機能：・自動受信… 毎日午前2時、以後3時間ごとに受信 (受信から次の受信まではクォーツの精度で動作)  
・手動受信… ボタン操作による2つの電波 (40kHz/60kHz) のうち最適な方を選択し、受信します。
- 受信結果確認機能：ボタン操作により、LEDランプで表示
- 時刻合わせ機能：電波受信による自動セット、または手動セット
- 明るさテスト機能：ボタン操作により明るさテスト結果をLEDランプで表示します。

※指針 (針の表示) 誤差について：構造上、若干の指針誤差が生じる場合があります。

## 保証・アフターサービス

- 本製品はメーカー保証です。保証の内容については付属の保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がご預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 本製品の修理用部品は製造終了後7年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な製品本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どりの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品または再生品を使用させていただくこともありますが、ご了承ください。
- 有料修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご了承ください。
- 保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。販売店が保証が受けられない場合は、クックお客様相談室にご相談ください。
- お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ご不明な点は、クックお客様相談室にお問い合わせください。

## お問い合わせについて

本製品、またはアフターサービスなどについてのご不明な点がありましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号 (品番) をご確認のうえ、下記クックお客様相談室にお問い合わせください。

(例) : SF○○○、HS○○○、TC○○○など)

クックお客様相談室 0120-315-474

<https://www.seikowatches.com/jp-ja/>

発売元

セイコーウォッチ株式会社